



スクラム

柳井市立小田小学校

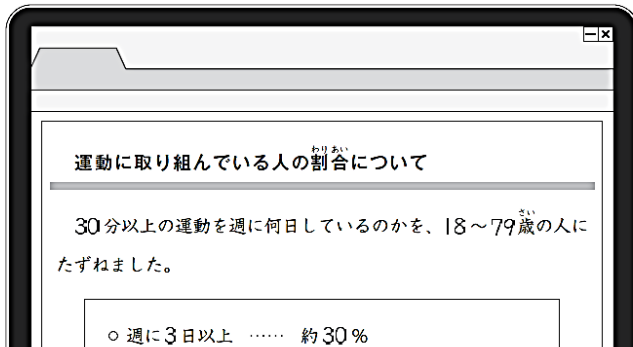
学校だより第631号

校長 浅海 範明

なかなか手強い「割合」の問題

～より深い理解をめざして、言語能力の伸長を図ります。～

あいかさんは、毎日を健康に過ごすためには、運動、食事、休養・すいみんが必要であることを学習しました。そこで、インターネットで運動について調べると、下のような記事を見つけました。



1日に30分以上の運動を、週に3日以上している人の割合は約30%なのですね。

(1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでのの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合

全国学力・学習状況調査の問題から、子どもたちが一番てこずった問題の一つを紹介します。まず、質問にたどり着くまでの場面設定が長いのは、昨年の学校だよりでもお話ししてきたとおりです。

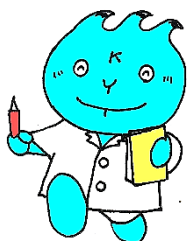
問題は30%になるものを2つ選ぶというのですが、選択肢の表現がなかなか曲者です。アの選択肢は、「30%は小数倍で表現すると0.3倍となる」ということをちらつかせた引っ掛けです。ウの「100人をもとにした30人の割合」は大人から見ると一番

簡単に選べそうですが、2つ正しく選ぶことのできなかった子どもは、全員がこのウの選択肢を選ぶことができなかったのです。「30人が30%なんて、簡単すぎて引っ掛けだろう」と判断してしまったのでしょうか。

大人にもいえることですが、物事の理解のレベルは、「手順や知識として覚えている」というレベルから、「その本質を理解している」というレベルまで様々です。「覚えている」というレベルでは、自信をもって答えることができなかったり、ちょっと質問の仕方が変わると正答できなかったりします。

全ての社会事象の本質を理解するのは不可能ですが、小学校の学習ではより深い理解をめざします。先日、本校の校内研修で公開された授業では、1年生の算数において「 $3+9$ 」をどう計算するのか、徹底的に子どもに説明を求めていました。式で表し、ブロックを操作し、図で表現し、言葉でも説明する。これは、この先の人生において、「きちんと理解する」とはどういうことかを知り、そしてその大切さを体に染みこませる活動ともいえます。そしてこの学習活動において常に基盤となっているのは言葉です。式の意味を説明する。ブロックの動かし方を説明する。なぜその図になるのかを説明する。式や図など表現の仕方は様々ですが、それらの表現をより確かなものとしているのが言語による表現です。そしてその言語による表現を支えているのが語彙力や文章力で、その力は正確にすっきりと表現されている教科書などの文章をたくさん読むことで身につけていきます。

発達に伴って、言葉より正確で便利な表現方法も使えるようになりますが、言葉による表現がその基盤を支えています。



柳井中学校区しらかベネット
育てたい子ども像

ふるさとを思い 未来を拓く しらかべっ子